

満星鳥王一座第19回公演

女中たちの ボレロ

タワムレル
ジョチュウタチ

福島公演 2009年3月1日(日) 15:00 / 19:00
2日(日) 19:00

福島市音楽堂 小ホール

仙台公演 2009年3月21日(土) 14:00 / 19:00
22日(日) 14:00

白鳥ビル 8F白鳥ホール

いわき公演 2009年2月15日(日) 14:00

いわき芸術文化交流館アリオス 小劇場

主催：いわき芸術文化交流館アリオス

女中たちの ボレロ

タワムレンル
ジヨサユウタチ

ジャン・ジュネの「女中たち」は、ゴツコ遊びを繰り返す二人の女中—ソランジュとクレールが警察に拘留されていた旦那様と対面することなく幕を閉じる。旦那様が拘留されたのは彼女たちが嘘の密告の手紙を渡すところからで、悪意では監獄行きになるはずだった旦那様は保釈されて、今にもそこへ帰って来るというのに。そう、彼女たちは自らの手でその芝居の幕を下ろした。一人の女中の死というラストシーンを留意して。

ジュネは、旦那様と奥様あての電話をかけたことによって保釈の事実を伝え、奥様も留守だったため、この事実が女中たちが聞くことになる。これによって女中たちは先に述べたラストシーンへと導かれるのだが、もしこの電話がなかったらどうなるか？旦那様がいきなり奥様の部屋のドアを開けたらどうなるだろうか？本作はこのインスピレーションから生まれることになった。そのとき、ドアからひよっこり覗かされた旦那様の顔が、古代ギリシアの叙事詩の男と重なりあった。トロイア戦争に出かけたつぎ20年戻らず、戻ってみれば妻へ言い寄る男たちに家を荒らされ、復讐として求婚者たちと求婚者に加担した12人の女中を皆殺しにした、オデュッセウス。おや、ここにも女中がいた。こうして二つの物語に着想を得た「女中たちのボレロ」がその旋律を奏でたのだ。

作・演出：大信ペリカン
舞台美術：金魚や 照明：高橋巨典 音響：大信ペリカン 小田真澄也
衣裳・メイクアップ：佐藤露美
宣伝営業：前久美和子 宣伝美術：A2C 写真撮影協力：家業のこぼやし
制作：オフィス・トリキング
主催：オフィス・トリキング（福島・仙台公演） いわき芸術文化交流館アリオス（いわき公演）

瀧見島王一磨

1996年福岡県、以来18本のオリジナル作品を活動拠点である福島県福島市のほか、東京都、大阪府、仙台市、盛岡市などで上演。ギリシャ劇団を代表して劇が深い「エレクトラ」「blind」など、近年は古典作品を原作とした作品づくりに取り組む。作品ごとに演技や演出を柔軟に変化させる意識をタイトル、演劇と現在の社会との共通点を探った創作活動を行っている。

劇出演

七海良郎

瀧見島王一磨所属。2001年入団、第10回公演より全ての公演に登場・スタップとして関わる。主な出演作に「エレクトラ」「blind」など、外部活動として福島市内の前原に出演するほか、詩人・利合宗一郎が代表を務める「仙台新演劇」に参加し、各地でポエトリー・リーディングにも取り組む。

平林田実

瀧見島王一磨所属。2003年入団、第12回公演より今の公演に出演する。主な出演作に「盲の夜、盲家」「blind」など、女優としての活動のほか、福島を中心として活動するアコースティックデュオ「中島(599んきり)」のピアノ・キーボードサポートとして、音楽活動も行う。

加藤裕美（総組）

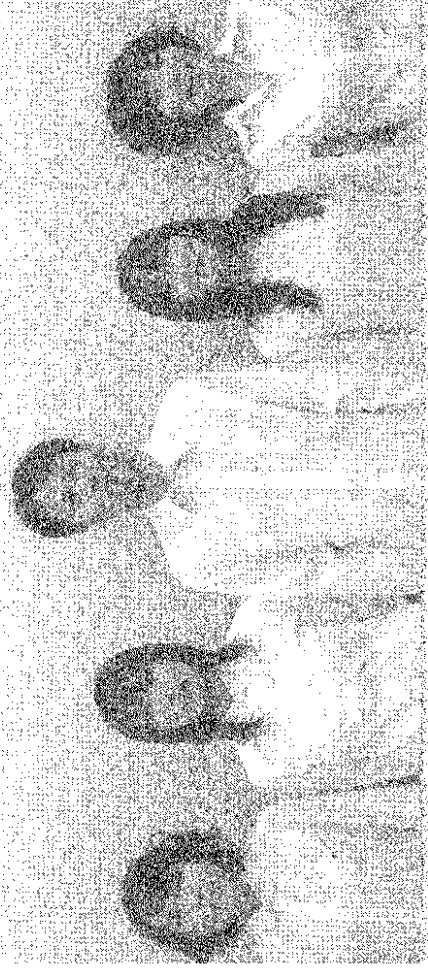
1998年劇団Be Whiteの旗揚げに参加。以後、2005年まで7本の公演に出演する。2005年、美濃クリエイターのスワカセ七兵衛を中心に総組（スワカセみか）を旗揚げ、制作総務として現在まで3本の公演を総務・総組での活動のほか、瀧見島王一磨、劇団浅間交差、或上市の劇団シアターLABO主催「みちくち朗読会」並びに外部出演を行う。主な出演作「PEXCHFUL ANGEL'S BOMBER Nig-Hi!」(劇団Be White 2003)、「blind」(瀧見島王一磨 2006)、「ヒトマチ」(劇団Be White 2007)「悪魔のアレ」(総組 2008) など

六戸美佳子

宮城時代より演劇活動を続け、卒業後、劇団Be Whiteに所属し、多数の作品に出演する。また劇団在籍中の2004年には、福島市内の演劇人で作る演劇劇団「letters」(作・演出/野崎美一)に出演。2007年に退団しフリーへ。以後、福島市を中心に活動を行う。主な出演作「エレクトラ」(瀧見島王一磨 2006)、「ヒトマチ」(劇団Be White 2007)「悪魔のアレ」(総組 2008) など

神永真紀（演劇集団 浅間交差）

2003年よりいわき市の演劇集団浅間交差(つぎま)に参加。瀧見島王一磨6回公演から第13回公演まで専ら公演を専ら10本の公演に出演する。浅間交差での活動のほか、いわき市の演劇人で作る公演「祝の真実」(作・演出/飯坂 孝出)「たぐい交差」(作・演出/劇団コソリート)に参加するなど、いわき市を中心に積極的に活動を行う。



■ 福島公演

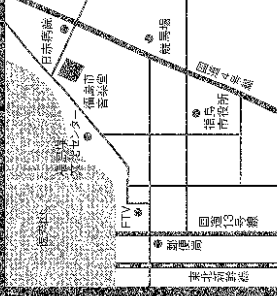
3.1(日)・2(月)

劇場開演 3月1日(日) 15:00 / 19:00
3月2日(月) 19:00

福島市音楽堂 小ホール

〒960-8117 福島県福島市大田町1-1

- 料金【全席自由】
- 前席 1,000円
- 当席 500円
- 学生前席 1,500円
- 学生当席 1,000円



■ 仙台公演

3.21(土)・22(日)

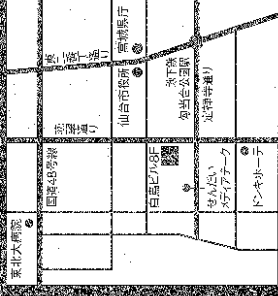
開演時間 3月21日(土) 14:00 / 19:00
3月22日(日) 14:00

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区春田町6-1 白鳥ビル8F

白鳥ビル 8階白鳥ホール

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区春田町6-1 白鳥ビル8F

- 料金【全席自由】
- 前席 1,000円
- 当席 500円
- 学生前席 1,500円
- 学生当席 1,000円



● ご予約（福島・仙台公演）

劇団浅間交差（仙台公演）
仙台市太白町5-10-15
http://www.fukushima-be-white.com/
http://www.fukushima-be-white.com/



■ いわき公演 3.15(日)

2.15(日)

開演時間 3月15日(日) 19:00
劇場開演 2月15日(日) 19:00

- 料金【全席自由】
- 前席 2,000円
- 当席 1,000円
- 学生前席 3,000円
- 学生当席 1,500円

〒970-0017 福島県いわき市本町1-1-1

